

広報

ただみ

9
2015 月号
No. 544
平成27年9月10日

今月の表紙

只見高校生が国道289号の早期開通祈願と、「八十里越」周辺環境の保全と活用を広く発信する事を目的に行ってきたR289フルコース踏破事業も今年で5回目を迎え、8月の暑い中、2日間いわき市～新潟市までの約300キロを自転車で走り切りました。只見町内を走る2日目は、早朝にも関わらずたくさんの町民の皆さんが沿道で高校生を応援してくれました。



- 各集落で座談会を開催.....2～3
- 平成27年度只見町成人式.....4～5
- 南会津地方・町総合防災訓練.....6～7

<News&flash>

国道289号 八十里越地点期成同盟会/
只見線応援動画を制作! ほか.....8～9

<町の話題>

釣りで外来魚駆除「鬼たいじ」ほか...10～11

集落座談会



まちづくりについて 207件の意見交換

5月末から7月末までの約2ヵ月間、全集落で座談会を開かせていただきました。テーマを農林振興と高齢者施策としましたが、座談会に参加頂いた皆さんからは、身近な集落の課題から、町の施策に関するものまで幅広いご意見をいただきました。

皆さんからいただいたご意見や質問、提言や要望などを町振興計画の5つの施策大綱に沿って紹介させていただきます。

○住民と行政が協働する まちづくり

【問】 JR只見線の再開通見通しは。

【答】 早期全線再開通に向けて様々な活動を行っていますが、依然として困難な状況です。しかし、只見線は住民の生活路線としてまた、町の観光資源としても重要な役割をもっていますので、再開通に向けて要望活動などの取り組みを今後も継続して行っていきます。

【問】 高齢者の買い物支援などはないか。

【答】 集落で助け合える仕組み作りの支援や、商店での配達など個々に対応されてきた事が全体的に機能するよう支援をしていきたいと考えます。

【問】 田島へのツアーバスの利便性を良くして欲しい。

【答】 現在はツアーバスという形で運行していますが、利用状況などを考え利便性についても検討していきます。

○自然に感謝するまちづくり

【問】 克雪事業を利用すると15年間は補助対象とならないと聞いた。もう少し期間を短くできないか。

【答】 多くの方に補助制度を活用していただきたいと考えていますので、15年間となっています。ご理解願います。

【問】 空き家対策の状況は。痛みがひどくなる前に若者向けの住宅にできないか。

【答】現在、危険家屋を最優先にして対応をどうするか所有者と協議を行っています。また、新規就農者向けなどに空き家を改築することも有効だと考えます。集落の方からも空き家情報 の提供をお願いします。

○保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

【問】少子化が大きな問題となつてい る。今後どのような対策など を行っていくのか。

【答】現在、18歳以下の医療費無料、 保育料の軽減や学童保育の実 施などの支援を行っています。 また、若い男女の出会いの場づ くりなども行なっています。今 後は若い世代の為の定住環境づ くりや移住対策、空き家対策 を含めた施策を構築したいと考 えています。

【問】若い人の意見を聞く機会を設け るべき。

【答】若い人の意見を聞けるよう今後 何らかの手段を講じたいと思 います。

【問】町外の病院へ通院する場合の助 成などは無いか。

【答】町の課題と考え、支援について 検討していきたいと考えます。

【問】高齢者の為に足腰が弱らないよ うな体操教室や集まりを開催 して欲しい。

【答】各集会施設などで体操やゲーム、 運動、食事、会話がでる場 を提供できるよう現在検討して います。

【問】現在建設中の老人ホームはどの ようなものか。またいつ開所す るのか。

【答】只見ホームのサテライト施設(只 見ホームと密接な連携を確保し つつ、別の場所で運営される施 設)で全体で29床の小規模特別 養護老人ホームです。12月初旬 の開所を予定しています。

【問】高齢者は今後も増えるが、施 設の概要やサービス、費用、入 居待機者などを広報紙で周知 して欲しい。若年層にも認識し てもらう事が必要。

【答】なるべく具体的な数字を示すな ど介護する場合の経費が分かる ような広報を検討します。

○新たな産業と循環型社会を 構築する町づくり

【問】高齢化が進み農業の担い手が不 足している。町の支援策などは ないか。

【答】農地集積やＩターン就農者に係 る支援を現在行っております が、永続的な農地保全を図るた めの仕組みづくりとして、担い 手支援策、集落等支援策を現 在検討しております。

【問】農家が増えるように、農業で儲 かる仕組みづくりが必要。

【答】ふるさと納税返礼米や只見の米 をブランド米にするなど米が高 く売れる仕組みづくりを検討し ています。

【問】有害鳥獣の対応について、駆除隊 の減少が課題だと考える。農作 物などの被害が大きい状況なの で駆除隊の整備をお願いしたい。

【答】駆除隊確保を目的に、狩猟免 許取得更新に係る補助制度を 本年度創設しました。また、 個人負担はありますが、鳥獣被 害低減のために装置を設置する 方には補助制度がありますので ご検討ください。

○教育・文化を大切にす るまちづくり

【問】只見高校の山村留学生在が卒業 後に只見町に残るような対策 をして欲しい。

【答】卒業生が町内に残るような対策 を考えていきます。

○その他

【問】ふるさと納税はどのくらいあるの か。またどのような返礼品があ るのか。

【答】昨年度は約230万円のふるさと 納税がありました。今年4 カ月で約250万円となつてお り昨年よりも多くなつていま す。また返礼品は、1万円の納 税に対して約4千円の「自然首 都・只見」推奨品を送っていま す。今後は只見町のお米を返礼 品に加える予定となっています。

【問】こういった座談会はおしらせば んだけでなく、工夫をしてもつ と大勢の方に来てもらうように した方が良い。

【答】多くの方に来ていただけるよう な周知の仕方を考えたいと思 います。また、集落の皆さんも声 をかけあつての座談会への参加 などのご協力をお願いします。

平成27年度 只見町成人式



▲新成人の皆さん



今年度の只見町成人式は8月15日に季の郷湯ら里で開催されました。成人式には新成人43名が出席し、大人としての第二歩を踏み出しました。

式では、目黒町長が式辞を述べ、続いて行われた成人証書授与では、新成人から家族へ今まで育て見守ってくれた感謝の気持ちなどのメッセージが読み上げられました。また、星公正県議会議員と齋藤邦夫町議会議長から励ましの言葉が送られ、先輩からのメッセージとして只見町で働く2人の先輩からは、自分達のこれまでの経験の中で新成人の

皆さんの人生に役立てて欲しいことが話され、新成人の皆さんは真剣に人生の先輩たちの話を聞いているようでした。

最後に成人者を代表して五十嵐浩佑さんが「成人を迎え不安もありましたが、本日から皆さんの言葉を胸に刻み、これからの人生において精一杯努力していきたいと思っています。また、ユネスコエコパークに登録された只見という類まれなる自然に恵まれたふるさと只見で成人式を迎えられ本当にうれしく思います。」と謝辞を述べました。



▲成人証書は一人ひとりに手渡されました



▲謝辞を述べる五十嵐 浩佑さん



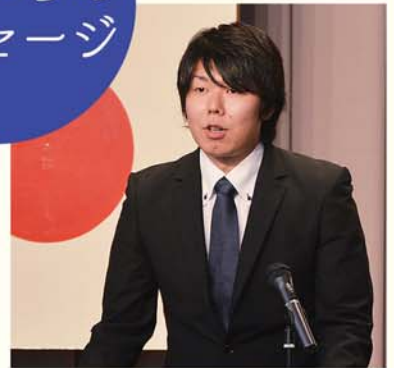
船木 望さん

自分がやりたい事を見つけることは難しいですが、皆さんには常にアンテナを張って色々なものを見て、色々な事にチャレンジして欲しいです。

先輩からの
メッセージ

三瓶 友洋さん

私は認知症の知識を只見町の皆さんに学んで欲しいという目標がありますが、皆さんも自分の目標や興味を持つ事は深く掘り下げて欲しいです。



新成人から一言



渡部 拓さん

情報系の大学で勉強中ですが、あと2年間でやりたい事を見つけて親孝行がしたいです。



島谷 裕希さん

アニメーションの制作会社に勤務していますが、仕事が大変なので健康には気をつけたいです。



鈴木 ひかりさん

保育士を目指して現在勉強中で、これからは保育士になるため就職活動を頑張ります。



中野 翔さん

今は自衛官として日々訓練に取り組んでいます。将来は只見に戻ってきて只見で生活したいです。



▲迅速に土のうを積み上げた水防訓練

南会津地方・ 町総合防災訓練

豪雨災害を想定した連携訓練に
関係団体などから約220名が参加



▲避難所では保健師による保健活動訓練も行われました



▲けが人を車から救出する救急搬送訓練

8月23日、南会津地方防災訓練・町総合防災訓練を町下運動広場内で行いました。

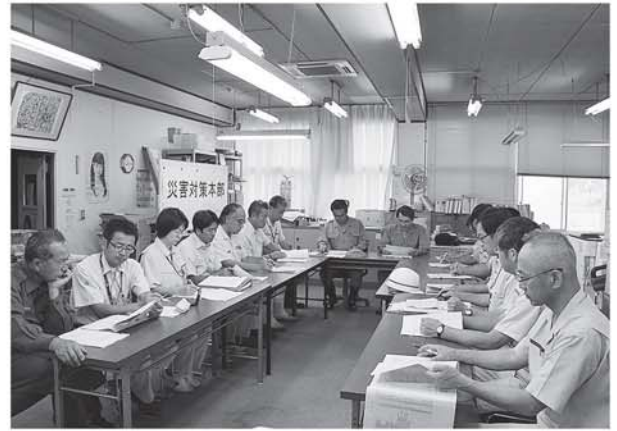
今回の防災訓練には只見町消防団、南会津広域市町村圏組合消防本部、南会津警察署、陸上自衛隊郡山駐屯地、N T T 東日本、東北電力などの団体が参加し、豪雨により河川が氾濫し、堤防を乗り越える水位の上昇や建物の床下浸水など大規模な災害が発生した事を想定した訓練が実施されました。

災害対策本部の設置に避難広報、避難所での保健活動訓練や、陸上自衛隊・婦人消防隊・赤十字奉仕団が連携した炊き出し訓練、消防署員による高所救助訓練、救助・搬送訓練、N T T 東日本や東北電力によるライフラインの復旧訓練など様々な訓練が行われ、通常の町の防災訓練だけでは連携できない事も多く、非常に実践的な訓練を行うことができました。

自然災害はいつ起こるかわかりません。一人ひとりが防災意識の向上に努め、日頃から災害への備えを心がけましょう。



▲炊き出し訓練では200食のおにぎりを完成させました



▲災害対策本部設置訓練は役場本庁で行われました



▲東北電力による応急復旧作業訓練



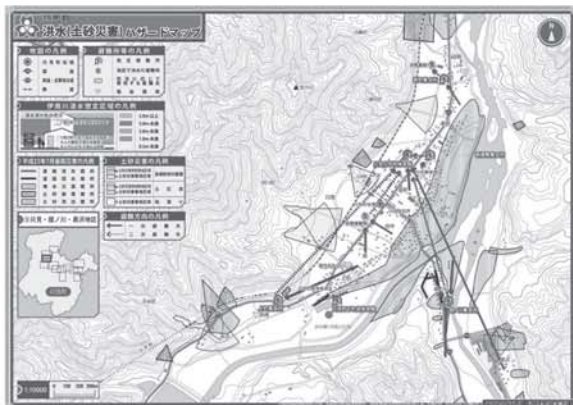
▲避難訓練も行われ、消防団が住民を避難所まで誘導しました



▲車両火災を想定した消火訓練



▲動けない状態の負傷者救助を想定した高所救助訓練



☎ 82-51100
町民生活課 町民係

〈問い合わせ先〉

ハザードマップは町のホームページから見る事もできますが、持っていない方は町民生活課で交付を受けてください。

ハザードマップは町のホームページから見る事もできますが、持っていない方は町民生活課で交付を受けてください。

ハザードマップを確認しましょう

町では、土砂災害危険箇所などを示したハザードマップを各戸に配布しています。自分たちの住んでいる地域はどこが危険なのか、どこに逃げれば良いのかをハザードマップを見てもう一度確認しましょう。

【国道289号 暫定開通に向けて】

八十里越地点期成同盟会を開催

7月29日、国道289号八十里越地点開発促進期成同盟会総会が季の郷湯ら里で行われました。総会では期成同盟会長を務める國定三条市長が「国道289号の暫定開通に向けてこの1、2年が勝負になると思います」とあいさつを述べました。

総会終了後には事業説明会が行われ、長岡国道事務所、三条地域振興局地域整備部、南会津建設事務所から国道289号の工事進捗状況や今年度予定されている工事内容などが説明されました。



▲総会であいさつする國定期成同盟会長

【地域に根ざした活動が認められ】

小林明老会に知事感謝状

7月29日、相馬市民開館で開催された第30回福島県高齢者福祉大会で、小林明老会が知事感謝状を受けました。

小林明老会は、地域支え合い事業として明和小学校の児童が登校する際の見守り活動や、集落内の花壇整理、明和保育所周辺の清掃活動など地域に根ざした社会奉仕活動を行っており、会員の健康づくりのため「グラウンドゴルフ」や「健康管理体操」なども行うなど、他の模範となる活動をされています。



▲感謝状を手にする角田会長(左)

【全納税者完納が認められ】

個人県民税完納町村知事感謝状

平成24年度から平成26年度までの3年度間連続して個人県民税全納税者完納の功績が認められ、8月6日に役場本庁で南会津地方振興局長より県知事の感謝状を受けました。

これは、町民の皆さんの高い納税意識とご理解のおかげです。今後とも税金の納期内納付をお願いします。また、永年納税組合長としての功績が認められ、大倉中地納税貯蓄組合長の飯塚信哉さんが納税功労者として知事感謝状を受けました。



▲感謝状を手にする飯塚さん(中央)と目黒町長(右)

【只見の皆さんも出演】

只見線応援動画を配信中

JR只見線の全線復旧支援を目的として只見線応援動画が制作され、現在インターネットの投稿サイト「ユーチューブ」で公開されています。動画は、いわき市出身のダンサーRY☆(りよう)さんが只見線沿線の住民と一緒にダンスを踊る内容となっており、只見町でも8月5日に撮影が行われ多くの町民の皆さんに参加していただきました。

動画は「ユーチューブ」で「只見線応援動画」と検索すれば見る事ができます。



▲只見町では只見駅前撮影が行われました



▲来場者は改めて只見線の良さを感じているようでした

只見線が好きだから
考古館で只見線絵画展

8月7日～9月6日まで、会津只見考古館ロビーで鉄道風景画家松本忠さんの絵画展が開催されました。

会場には、松本さんが描いた只見線沿線の風景画が展示され、夏休み期間ということもあり、関東圏からも多くのお客さんにお越しいただきました。

また、只見線応援切符として松本さんが只見駅などで購入した切符を絵とメッセージをあしらった切符書大のカードに貼ったものが来場者にプレゼントされました。



▲アカショウビンについて発表する3年生

朝日小学校
会津ユネスコ協会から助成金を贈呈

8月26日、ユネスコスクールとして認定されている朝日小学校に会津ユネスコ協会の吉田会長らが訪れ助成金の贈呈式が行われました。

贈呈式後には児童が只見について学んだ事の実践発表が行われ、3年生はアカショウビンやヒメサユリについてクイズ形式での発表を行い、6年生は会津只見考古館での勾玉づくりを通じて昔只見で生活していた人達の事を調べ発表しました。

朝日小学校は只見学などを通じて今後も只見の素晴らしさを広く発信していきます。



▲会議では様々な意見交換がされました

只見の誇りを語る人材を育成する
只見学合同会議を開催

8月24日、只見振興センターで只見学懇談会・専門分野部会合同会議を開催しました。

この合同会議では、只見学推進事業計画の協議や12月12日(土)に実施を予定している「只見おもしろ学検定」についての確認などを行いました。

また、只見学について学ぶワールドワークを兼ねた勉強会の開催についても話し合わせ、この日程が決まり次第参加者の募集を行う予定です。



▲応募名称が最優秀賞に選ばれた吉津マチ子さん

小規模特別養護老人ホーム
新施設名決定!

現在、只見町長浜地内に建設中の小規模特別養護新施設名称の募集を行ったところ、町内外から20件の応募がありました。多数のご応募ありがとうございました。

この度、名称に係る選考会を実施し名称を次のとおり決定させていただきました。

新施設名
特別養護老人ホーム
あさくさほーむ
最優秀賞 只見町長浜
吉津マチ子さん

只見の鬼をみんなでたいじ！ 釣りで田子倉湖の 自然を守る



▲雨天の中、必死に捕獲を狙いました！

8月30日、田子倉湖に放流されたブラックバスなどの外来魚を釣りで駆除するイベント「鬼たいじ」が行われ町内の親子などが参加しました。

イベントはただみ鬼たいじ実行委員会の主催で、伊北地区非出資漁業協同組合などにも協力をいただき、参加者は田子倉湖をモーターボートで周遊し只見の雄大な自然を感じつつ、この自然を守るため只見の鬼たいじを頑張っていました。

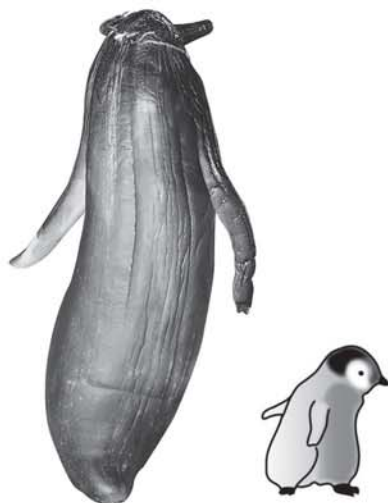
只見剣道スポーツ少年団 次こそは優勝を！

第48回全会津少年剣道大会で、個人戦男子5年生の部で目黒巧馬君が第3位、男子6年生の部で新国太陽君が準優勝の成績をおさめました。

どちらも優勝までは本当にあと少しです。ぜひ次の大会では優勝というさらに素晴らしい成績を残して欲しいと思います。



▲団体戦での優勝も期待しています



皆さんは何に見えますか？

珍しい形の

ナスがとれました！

新国恵子さん（只見字原）の畑で変わった形のナスがとれたとご連絡をいただき、写真を撮らせていただきました。

皆さんにはこのナスは何の形に見えるでしょうか？

「ペンギン」のうしろ姿に見えないでしょうか？

ブナセンター講座と自然観察会

8月1、2日の2日間、森林生態学や生物多様性科学が専門の中静透氏（東北大学大学院生命研究科教授）に講師をしていただきました。

8月1日(土)「気候変動によって 雪国の森林はどのように変わってゆくのか？」

ブナ林は積雪の少ない太平洋側ではいろいろな種類の木が混じるのに対し、積雪量の多い日本海側ではブナが圧倒的に多いです。ブナは曲げに強い材質であることから、多雪地域での雪圧に耐えることができます。また、積雪の少ない太平洋側ではブナの種子は冬季にネズミの絶好のえさになってブナの次世代が生育しにくいのにに対して、多雪地域では、冬にネズミの行動が制限され種子が食べられにくくなります。このようなことから、日本海側でブナが多くを占める森林が形成されると考えられます。

また、このように雪と関係の深い森林が近年の気候変動によって、今後どのように変化していくのかも説明していただき、ブナは木の成長や実のなり方に影響が出てきているようです。今後の気候変動からブナの生育に適した場所を予測した結果では、2100年頃になると日本ではブナの生育に適した場所が非常に少なくなることも教えていただきました。気候変動という大きなスケールの話聞くことによって、只見町の自然についてもまた違った見方ができたと思います。

8月2日(日) 「夏のブナ林を歩く！」

只見沢登山口から浅草岳や鬼が面山に残る万年雪の見える景色は興味深い景色で、歩き始めてすぐの道沿いはサワグルミやトチノキが生える溪畔林になっていますが、やがて高木のほとんどをブナが占めるブナ林に移り変わります。ブナ林の中で林床にシダが繁茂しているところは比較的新しく土砂崩れが起きた場所で、それ以前に土砂崩れが起きた場所にはユキツバキが多くみられるそうです。生息する植物からその地域の環境や成り立ちなど実際には目に見えないところまで考えられることが分かった貴重な観察会でした。



▲林床の形成時期の違いの解説を受ける参加者



ひらの 平野
えいた 詠大くん(小林)



めぐろ 目黒
みゆ 美結さん(熊倉)

虫歯の
ない子

（ 8月5日
3歳児健診 ）

8月から診療所で勤務しています！

8月から11月までの4か月間、朝日診療所で勤務をしていただく会津中央病院看護師の長嶺翔子さんです。もう1か月診療所で勤務されているので、長嶺さんを知っている方も多いかと思えます。

長嶺さんは、会津中央病院では救命救急センターで勤務しているため、普段の勤務ではなかなかできない患者さんと会話をする事で、コミュニケーションスキルを身につけたいとの事ですので、長嶺さんを見かけたらぜひ気軽に話しかけてみてください。

皆さん、どうぞよろしくお祈りします。



広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 山内健士朗



「たかが虫刺され？」

みなさんこんにちは。4月から只見に来た朝日診療所の山内健士朗です。出身は東京都、帝京大学で、3年前から福島市で勤務しておりました。夏はバイクでツーリング、冬はスキーを趣味としております。専攻は若山・森医師と同じ家庭医です。まだまだ至らないところもありますが、只見のみなさんの健康づくりに協力できるよう精進していきます。

さて、この自然首都只見で生活している我々は虫に刺されることは日常茶飯事です、アナフィラキシーショックという言葉は聞いたことありますか？

私たちの体は、ウイルスや細菌などの異物である「抗原」が入ってくると、「抗体」をつくり、「免疫」によりこれら外敵をやっつけようとします。細菌、ウイルスなどと闘うときは非常にありがたいんですが、時々、食べ物や花粉など無害なものにも過剰に反応し、自分をも攻撃してしまう場合があります。これを「アレルギー」と言います。基本的にどんな物質にもアレルギーはありえます。

抗体は一度作られると、同じ異物が入ってきたときに、より速やかに、より強力に働きます。命に

関わる重症なアレルギー反応をアナフィラキシーといいます。症状としては、気分不快、めまい、全身の蕁麻疹、呼吸困難、意識障害などです。蜂刺されは代表的な原因で、全国で年間20名ほどが蜂刺されによるアナフィラキシーショックで亡くなっています。

蜂に刺されたら、まずはその場を離れ、傷口を洗浄、冷却し、安静にしてください。早急な受診を要する場合は、①2回目以降の蜂刺され、②なんとなく気分が悪い、③刺されていないところにも蕁麻疹が出た、④症状が30分以内に出た、などです。

意識を失ってからでは遅いので、林業などで山や森での作業が多い方は、アナフィラキシーの特効薬であるエピネフリン自己注射器（商品名：エピペン）を携帯しておくことをお勧めします。当診療所でもお渡しすることができます。

アナフィラキシーの原因は蜂だけではありません。「いつものことだ」「これしきのこと」では済ませずに、速やかな受診をお願いします。まだまだ暑いですが、ともに残暑を乗り切りましょう！

読み方が示されている『神皇正統記』 —日本の中世・近世村落の書物文化財—

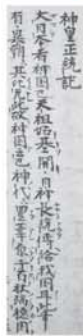
これまでの『神皇正統記』の読み方

北畠親房が延元四（暦応二・一三三九）年に書いた『神皇正統記』の原本は残されていませんが、多くの中世写本が残されています。その中で最善本である國學院大學蔵本（室町時代初・中期の書写）の冒頭は、

「大日本者神國也。天祖ハジメテ基ヲヒラキ、日神ナガク統ヲ伝給フ。我國ノミ此事アリ。異朝ニハ其タクヒナシ。此故ニ神國ト云也。」（日本古典文学大系『神皇正統記』）

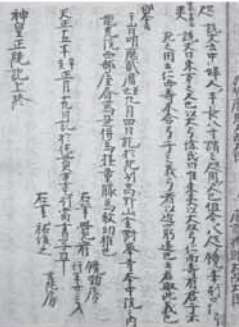
只見本『神皇正統記』の読み方の指示

黒谷の原田家に伝来した只見本は、天正十五（一五八七）年に書写されました。只見本の写真を見てください。「大日本」の左傍に付いている「一」は、訓読みの符号（訓合符）で、「ヤマト」と訓読みの仮名が付いています。「神國・天祖・日神」の中央に付いている「一」は音読みの符号（音合符）ですから、「しんこく・てんそ・にっしん」と音読みすることになります。只見本の読み



◀只見本『神皇正統記』の冒頭部分

「大日本者神國也。天祖ハジメテ基ヲヒラキ日神ナカク統ヲ傳給フ。我國ノミ此事アリ。異朝ニハ其タクヒナシ。此故ニ神國ト云也。」と記されていますが、漢字に振り仮名がなく読みにくいのです。作品成立当時の漢字の読み方を調べて読むこととなります。



▲祐俊が書写した只見本の奥書「神皇正統記」



▲祐俊が書写した【伝法灌頂式次第】

方の指示に従って読むと次のようになります。「大日本者神國也。天祖始テ基ヲ開キ、日神長ク統ヲ伝へ給。我國耳此事有、異朝ニハ其類無し。此故ニ神國ト云也。」

この有名な冒頭も、ずいぶん違った読み方です。只見本を書写した十六世紀末には、このように読まれていたこととなります。漢字の音訓、読み仮名、読点を備えた只見本『神皇正統記』は、人々に読み上げられたと考えられ、『神皇正統記』の受容と機能を考える手がかりとなります。

書写した玄純房祐俊の活動

只見本の親本は、明応二（一四九三）年九月十九日に、高野山金剛峰寺の龍光院で、鏡勤房寛宥が書写した本であること、只見本は、天正十五（一五八七）年一月二十六日に、

上野国の佐貫雷電別当（群馬県邑楽郡板倉町板倉の雷電神社）で、玄純房祐俊が書写したことが奥書からわかります。

祐俊は、只見本『神皇正統記』のほかに、修験吉祥院（只見新町・五十嵐家）に伝来した『地鎮祭文並 表白』（書写年記なし、親本は観応元（一三五〇）年）や原田家の菩提寺である真言宗灌泉寺（黒谷）に伝来した『伝法灌頂式次第』（首欠、仮題、卷子本、天正十一年写）も書写しています。「伝法灌頂式次第」の奥書には、京都醍醐寺の光台院亮 淳が、天正十一（一五八三）年七月に關東・奥州（福島県域・会津地方）に下向した折に、醍醐寺の直末で地方本寺（田舎檀林）である金剛定寺（栃木県宇都宮市上桑島町）の末寺僧である祐俊が、右筆として書写したと記されています。祐俊は醍醐寺光台院の關東・奥州下向に關わる右筆僧であったのです。『神皇正統記』が只見に伝存するのは、聖教や古典籍を書写した祐俊の活動範囲に、只見町域が含まれていたからだと考えられます。



町民文芸

只見短歌会

七月詠草

大塚栄一

指導

梅雨も開け猛暑となるも朝露に畑作物のみどり清しき

関谷登美子

線量を気にしつつ摂る山菜の楽しみそぎぬ原発の事故

小倉キミ子

娯楽など少なき村の老人ら雨の一日は寄りて茶を飲む

馬場 八智

親友が市議員に立つと言ふに告示前より胸は高鳴る

新国由紀子

消灯後向かひの媪も眠れぬか細き腕上げ指折り数ふ

古川 英子

唐黍の実入りを待ちて鴉らの漁らぬうちにと網を巡らす

渡部ゆき子

欲得もなく姉弟らを守り来し兄も九十歳とぞ言ふも

五十嵐夏美

帰り行く友送り出し押車の向き変へやれば満面に笑む

目黒 富子

猛暑日に池に引きたる山水も絶えて地下水を出す日の多し

渡部ヨリ子

部屋替へに体拭くのみの一か月はじめて風呂に曾孫と入る

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

八月例会

目黒十一

指導

青空へ毛虫の垂るる無力感

順子

螢待ち言葉つつしむ家族かな

見馴れたる青葉の山は捨てがたし
夏椿吾が高齢にたぢろげり

リウコ

寝返りの介護の重き夏の夜

修一

草刈や雑念を消し今日暮るる

夏野菜エンゲル数值下げて行く
大豆時く今年は列を多目する

都

向日葵や朽ちて大小種子零す

一穂

残暑など知らぬ顔なり水の音

友逝って侘しき残る夏の雨
散歩道一枚もらう月見草

味代子

遠き日の兄の草笛土の橋

敦子

初生りの西瓜や家族みな揃う

越後嶺の夜空八月十五日
裏山の墓石光りぬ稲の花

恒夫

老鶯や散策の杖止めける

吉児

青一天居久根を揺する蝉しぐれ

幾年や空屋の角の額の花
頓狂な笑い話題を変え涼し

礼

先生の前診時刻濃あじさい
目のはしる放射線量夏わらび

邦男

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

試験

社会福祉法人南会津会 職員採用候補者試験

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人南会津会では、職員採用候補者試験を次により行います。

●採用予定職種・採用予定人員

- ①看護職員 若干名
- ②介護職員 若干名

●採用予定年月日

平成28年4月1日

●職務内容

①看護職員 Ⅱ特別養護老人ホームなどで利用者および職員などの診療の補助、看護、健康管理、保健衛生などの業務に従事します。
※特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設での勤

務は交替制勤務となり、夜勤があります。

②介護職員 Ⅱ特別養護老人ホームなどで利用者の食事・入浴・排せつ介護などの業務に従事します。

※特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設での勤務は交替制勤務となり夜勤があります。

●受験資格

年齢・学歴は問いませんが、次の項目に該当することを必要とします。

- ①普通自動車一種免許取得者 または、平成28年3月31日までに取得見込みの者
- ②平成28年4月1日現在60歳未満の者
- ③次の資格を有する者

・看護職員は、保健師助産師看護師法に定める看護師免許または准看護師免許の取得者(看護師養成施設または准看護師養成施設を

平成28年3月までに卒業する資格取得見込者を含む)。

介護職員は、特に資格要件はありません。

※次のいずれかに該当する方は受験できません。
・日本の国籍を有しない方
・禁固以上の刑に処せられた方

●試験の方法・日時・場所

▽第1次試験
一般教養試験(高等学校卒業程度)

日時 10月18日(日)
場所 南会津町田島あたら館
(旧田島町中央公民館)

▽第2次試験
(1次試験合格者のみ)
作文試験・面接試験

期日 11月15日(日)
場所 南会津町田島あたら館

●試験結果の発表
第1次試験の結果については、11月上旬に本人に通知します。

●受験申込手続について

当法人の施設などで交付する申込み用紙に必要事項を記入し、最近6ヶ月以内に撮影した本人の写真を貼り、受験資格を確認するため、受験申込用紙に資格を証する免許証などの写しを添付して、社会福祉法人南会津会本部署(特別養護老人ホーム田島ホーム内)に提出してください。

※申込用紙は、南会津会の本部署事務局または各施設で交付します。(郵送による請求もできます。詳しくはお問い合わせください。)

●申込受付期間
9月25日(金)までで執務時間中に限ります。なお、郵便による申込用紙提出は、9月23日(水)までの消印のあるものに限り受け付けます。

●問い合わせ先
この試験に関し不明な点は、

税 今月の納期

9月25日までに

納めましょう

- 国民健康保険税(3期)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者保険料(2期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)

社会福祉法人南会津会本部署事務局にお問い合わせください。

▽社会福祉法人南会津会本部署事務局(特別養護老人ホーム田島ホーム内)
南会津町永田字風下3番地1
☎ 0241(63)1118
申込用紙は次の施設で交付します

▽社会福祉法人南会津会本部署事務局
☎ 0241(63)1118

▽特別養護老人ホーム只見ホーム
只見町大字長浜字久保田
☎ 0241(84)7550

▽只見町介護老人保健施設こぶし苑
只見町大字長浜字唱平31
☎ 0241(84)2101

15

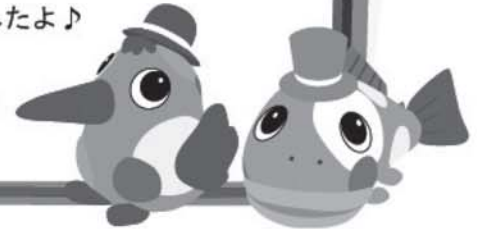


ゆるキャラグランプリ 2015

8月末現在

1718 体中 484 位 会津内 3 位

ブナりんがゆるキャラグランプリにエントリーしたよ♪
毎日一票投票をお願いします！
投票方法は町公式ホームページをご覧ください！
応援・ご協力をお願いします。



町長の手帳

町長スケジュール (8月分)

- 1日 沼沢湖水まつり(金山町)
- 2日 R289フルコース踏査応援、
只見線沿線首長会議(会津若松市)
- 3日 会津縦貫北道路記念シンポジウム(喜多方市)、
地域おこし協力隊交流会
- 5日 南会津地方環境衛生組合管理者会、
南会津地方市町村圏組合管理者会・定例会
(南会津町)
- 6日 県民税完納感謝状贈呈式、福島県治水・砂防協
会役員会及び総会(福島市)
- 10日 庁議、只見川電源流域管内町長情報交歓会
(柳津町)
- 11日 只見町議会8月会議、只見町議会全員協議会
- 15日 只見町成人式
- 16日 河井継之助墓前祭
- 19日 孟蘭盆流灯供養会(柳津町)
- 20日 国道289号建設期成同盟会新潟県内要望
(新潟県庁等)
- 21日 民生児童委員委嘱状交付式、
海外短期留学報告会
- 23日 南会津郡防災訓練、小野寺五典氏講演会
(会津若松市)
- 24日 南会津地方環境衛生組合定例議会、
南会津広域市町村圏組合定例議会、
南会津会評議員会・理事会(南会津町)
- 25日 9月補正予算町長査定、
水の郷うまいもんまつり実行委員会
- 26日 県道小林箱ノ川線改良促進期成同盟会総会、
両沼地方町村会とのJR只見線要望活動(東京)
- 27日 会総協・国並びに国会議員への要望活動、国会
議員との意見交換会、ダム・発電関係市町村等
振興議員連盟設立総会・意見交換会(東京)
- 28日 自然首都ただみ写真集出版記念祝賀会(東京)
- 29日 奥ロックフェスティバル2015(三島町)

「戦後70年」

8月の前半は雨が降らず猛暑の連続で水不足も心配されましたが、お盆の頃からは降らず照らずといった天気模様になり、最近はずっかり朝夕涼しくなりました。成人式、盆踊り、河井継之助墓前祭などお盆のイベントも順調に行われ、何よりもホッとしたことは「マイマイガ」の発生が無かったことで、春先の孵化した毛虫の状況からはウソのようなことでした。自然の摂理が働いたと思い、我々人間も地球上において傍若無人すぎないように注意が必要だと思いました。

今年は戦後70年を迎え、例年以上に戦争と平和を考えさせられました。折しも国会では安全保障関連法案が審議され焦眉の的となっています。他国民の命と多くの日本兵士の命を失い苦痛を与えた加害者としての立場、原爆や空襲によって多くの国民が犠牲となった被害者としての立場、加害者・被害者両方の立場から反省して誓った「不戦の誓い」を今あらためて内向きな平和論を越えて噛みしめなければならぬと思っています。

先日、林明輝氏による自然首都只見の写真集が完成し、東京銀座で200名もの大勢の方に祝福された出版記念式典が開催されました。写真集は只見の雄大さと魅力を知ってもらおう素晴らしいもので、現在、東京六本木で写真展を開催しており、今後は札幌、仙台、名古屋、大阪でも開催されます。この写真集が多くの人に目に止まり、一人でも多くの人に只見に来て頂くことで、只見線の復興にも繋がってくれる事を願います。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(7月26日～8月25日届出分) 敬称略

■お誕生日おめでとうございます

吉津 彩乃 (女/明・誠子) 杉 沢
佐藤 佑奏 (女/佑介・麻美) 大 倉

■ご結婚おめでとうございます

只見 坂下 拓穂♡長澤奈津美 只見

■おくやみ申し上げます

酒井 マリ子	81歳	黒谷
菅家 種郎	77歳	黒谷
横山 喜一	88歳	楯戸
五十嵐 キク子	89歳	蒲生
中野 正夫	87歳	入叶津
三瓶 勝朗	89歳	楯戸
五十嵐 レイコ	86歳	梁取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成27年8月1日現在

人口 4, 470 (-11)
男 2, 174 (-8)
女 2, 296 (-3)
世帯数 1, 797 (+2)
高齢化率 43.8%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 9 転出 13 出生 0 死亡 7

あとがき

▽お気づきの方もいらっしゃると思いますが、毎週発行しています「おしらせばん」のレイアウトを変更しました。もともと多くの方に読んで頂けるよう文字幅の変更や、只見町のキャラクター「ブナりん」のイラストを入れました。こうすればもっと読みやすいのに・・・というご意見などありましたらぜひ総務課までご連絡頂ければと思います。▽また不定期ではありますが、只見町のフェイスブックも更新しています。イベント情報なども発信していますので、ぜひ只見町のフェイスブックを覗いてみてください。

(吉津)

只見振興センター
三瓶美由紀

只見振興センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★そらまめくんのベッド



なかや みわ/著・絵
(福音館書店)

そらまめくんの宝物はふわふわのベッド。だからだれにも貸してあげません。ところが、そのベッドが突然なくなってしまったのです…。愉快なそらまめくんの楽しいお話です。

★リバース



湊かなえ/著(講談社)

深瀬和久は平凡な絵を描いたようなサラリーマンで、趣味らしいことといえばコーヒーを飲むことだった。その縁で、越智美穂子という彼女もできてようやく自分の人生にも彩りが添えられる。…と思った矢先、謎の告発文が彼女に送りつけられた。そこにはたった一行、「深瀬和久は人殺しだ」と書かれていた。深瀬を問い詰める美穂子。深瀬は懊悩する。ついに“あのこと”を話す時がきてしまったのか、と。最後の1行まで堪能できるミステリー小説です。

★傘を持たない蟻たちは



加藤シゲアキ/著(角川書店)

無限の悲しみはどこまでも僕を埋め尽くす――。いまを生きる人々の「生」と「性」を浮き彫りにする6編の物語を収録。累計20万部のデビュー小説『ピンクとグレー』の映画化で注目の加藤シゲアキ、最新刊です!

★その他にも図書室にはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受付けていますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

ケアブラチャン (学名: *Lindera praecox* var. *pubescens*)

[クスノキ科 クロモジ属]



▲ケアブラチャンの実(入叶津浅草岳登山道)



▲アカミノアブラチャンの実(2015年8月21日)

秋になると山には様々な果実が実ります。その中で、パチンコ玉より少し大きなまん丸の黄色い実を見つけたら、それはアブラチャンです。只見町に生育するのは、正式にはケアブラチャンというアブラチャン *Lindera praecox* の変種です。ケアブラチャンの葉の裏面脈上には毛があり、アブラチャンと区別できます。アブラチャンは本州、四国、九州に広く分布しますが、ケアブラチャンは日本海側の山地に生育が限られています。

ケアブラチャンは、落葉低木で、幹が茂りやぶを形成します。葉は楕円形で、先がとがったしずく型をしています。花期は、只見町では4~5月で、開葉に先立ち細い枝先に小さな丸い黄色の花を咲かせます。9~10月に果実が付き、熟すと黄色

くなり、乾燥すると割れて種子が飛び出します。

只見町では、全域に分布し、林縁から山地にかけての比較的湿り気のある場所に生育します。長浜地区には、ここだけにある赤い実の成るアカミノアブラチャンが生育しており、町の天然記念物に指定されています。実が赤いのは、平安時代末期に石川冠者有光という人が首をはねられ、その際にあふれ出た血汐を吸い上げたからだという伝説があります。アブラチャンの名前は、種子や樹皮に多く油を含み、生木でも燃えることからついたと言われていています。只見町の方言では「ジサガラ」と呼び、ザルの縁やソラックチの骨、かんじき、燃料材として用いられていたそうです。

企画展示

「只見町のブナの森 -ブナの生態から利用まで-」

日時：9月27日(日)まで開催中

只見町のシンボルであるブナ林について、パネルや写真、標本を用いて紹介します。

ブナセンター講座と自然観察会

講師 崎尾 均 氏(新潟大学農学部付属フィールド科学教育研究センター・教授)
水辺林の専門家である崎尾均氏を講師に迎え、ブナセンター講座で外来種ニセアカシアの生態についてお話しいただき、自然観察会では河畔林とそこに侵入したニセアカシアを観察します。

ブナセンター講座

「ニセアカシアの生態と管理～外来種の脅威!～」

日時：10月24日(土) 午後1時30分～午後3時

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

自然観察会

「伊南川の河畔林を観察しよう!」※事前申し込みが必要です

日時：10月25日(日) 午前9時～午後2時